

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	倉敷市立磯崎眠亀記念館
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市茶屋町195番地 名称 磯崎眠亀顕彰会 代表者 会長 佐川 慶三
(3) 公の施設の所管部署	倉敷市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
(4) 評価対象期間	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

2 総合評価結果

(1) 市の評価	<p>来館者には丁寧な説明を行い、館内外の美化に努め、良好な管理運営ができた。</p> <p>来館者数は前年に比べると減少したが、前年は日本遺産の企画等で来館者が一時的に増加したため、前々年の来館者数と比較を行い、評価を行った。</p> <p>自主事業の眠亀まつりでは作品展や手織り体験等を行い、来館者に磯崎眠亀に対する理解を深めていただくことにつながっている。管理運営を通して磯崎眠亀の功績や花筵の技術に関する知識の普及に貢献していることは高く評価できる。今後も引き続き良好な管理運営を期待する。</p>	総合評価
	S	
(2) 指定管理者の自己評価	<p>自主事業である「眠亀まつり」には倉敷市長を始め、ご来賓の方々や800名を超える地域の方が参加され、盛大に開催することができた。茶屋町小学校等の児童を対象とした書道・絵画展には163名、一般住民を対象とした総合作品展覧会には27名の方が出品された。保育園児の踊り、磯崎眠亀に関する発表、大人によるアトラクション、イ草を使ったミサンガ作り、イ草の手織り体験を実施した。これらの活動を通じて、郷土の偉人であり誇りでもある磯崎眠亀を知ってもらい、住民同士の親睦や異なる年代間の交流を図ることができた。</p> <p>2月には、茶屋町小学校3年生約210名が来館した。「磯崎眠亀は、失敗に失敗が続いたが、決してくじけることなく4年という長い期間をかけてついに錦莞莖とその織機を発明した。その後は日露戦争に行った軍人の留守家族の幼児保育所を開き、親のいない子ども施設にお金を寄附するなど社会のために尽くした。」等を説明した。</p> <p>イ草を見たことがない人も多く、プランターでの栽培を行っている。</p> <p>磯崎眠亀記念館と錦莞莖が日本遺産であることを更に伝えていきたい。</p>	

(3) アンケート結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年代別では20歳代以下が他の年代よりも多く来館していた。市外からの来館者が市内からの来館者よりもやや多く、自家用車での来館が6割を超えていた。8割以上が初めての来館者であった。 ・管理運営についての問いでは、各項目とも満足している回答が多く得られた。管理人の対応では全ての人が「満足」「ほぼ満足」と回答した。丁寧な説明で楽しく見学でき勉強になったという意見が多く見られた。
----------------	--

3 施設の利用状況

(1) 利用者数	前年度入館者数 4, 152人 今年度入館者数 3, 411人
(2) 事業の内容	倉敷市立磯崎眠亀記念館の管理運営に関すること

4 収支

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 1, 847, 824円 市からの指定管理料(委託料) 1, 336, 000円 自主事業収益金 511, 824円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 1, 921, 833円 主な支出 人件費 1, 336, 000円 自主事業費 523, 593円 施設損害賠償保険料 5, 000円 電源設備修繕費 57, 240円